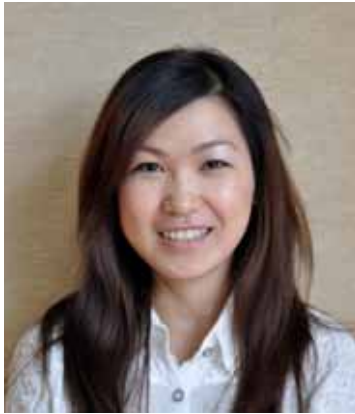


●発表者11 ツルン ティ ユウ マイ ●出身・ルーツ



ベトナム

●日本に来たのはいつ？

2008年7月

●日本語を勉強している期間は？

5年間

●発表者コメント

先生にすすめられて、がんばってみようと思い、出場を決めました。

●推薦者コメント 【大和日本語教室 中島安紀子 先生】

引っ込み思案でしたが、明るく積極的にになり、徐々に力をつけています。スピーチ大会に参加して、更に伸びることを期待しています。

スピーチタイトル 「日本にいたい」

私はベトナムのニャチャンから来ました。ニャチャンはどんなところが皆さんはたぶんあまり知らないでしょう。ニャチャンはホーチミンから200キロ離れています。車なら8時間、飛行機なら45分です。ニャチャンは海がきれいです。世界の28のきれいな湾のうちのひとつです。機会があれば見に行ってください。

子どものときに日本の漫画とアニメが好きだったので、日本へ一回行って見たいなあと思っていました。今日本に住んでいます。夢みたいで信じられません。うれしいです。けれども新しい生活を始めたとき、どんな困難な問題を抱えるか心配でした。でも好奇心と期待がいっぱいだったので、いいことばかり起こるはずだと思って楽観していました。

今、日本に来てそろそろ5年になります。長くもないし短くもないです。でもいろいろな

ことがあったんです。

一番目の大変なことは日本語です。日本に来る前に日本語を少し勉強したのに、ベトナム人の日本語と日本人の日本語は同じではありませんでした。特に発音が難しかったです。他にもイントネーションや文法の使い方やカタカナや漢字や敬語などいろいろありました。

それに重要な書類をもらっても意味がわかりませんでした。それで日本語が話せるベトナム人に頼んで、何回も面倒をかけてしまいました。日本語はとても難しいです。毎日練習しなければ忘れます。勉強する時間があまりないのも問題です。困りました。それに日本語を勉強するには日本人と話した方がいいと思うけど、どうやって話しかけたらいいかわかりませんでした。人見知りなんです。

努力もしたし日曜日に日本語教室へも通

だったので、私の日本語は少しずつよくなってきたと思います。今は一緒に仕事をしている日本人と話せたり、相談できたり、悪いことばにいたるまで覚えたりしています。

二番目に大変なことは仕事です。はじめは先輩の言うことを聞いて、先輩のやれと言ったことだけをやっていましたが、いつまでも言いなりになるのはちょっと違うと思いました。

ルールは必要だけど一人一人は自立した個人なので、それぞれが工夫して仕事をするのはいいことだと思ったんです。こういう考えだから最初はみんなとあまり合わなくて泣いたこともありましたが、でも自分のやり方で努力してきました。今はみんなわかってくれて、うれしいです。

病気のときや助けて欲しいときにそばにだれもいないのでストレスをかんじます。そんなとき「ベトナムに帰りたいなあ」と思います。でも帰っても何をやっていいかわかりま

せん。ベトナムも学歴社会なのに、私には学歴がないので、すぐに仕事は見つからないと思います。帰りたい気持ちはありますが、日本での生活も安定してきましたから、すぐには帰りたいです。

ここは自然も豊かだし、安全だし、日本料理もおいしいです。千葉、栃木、山梨、それに京都、奈良、大阪へも行ったことがあります。面白かったです。休みに色々なところへ行くと、日本の生活や文化や考え方がもっと理解できるようになると思います。それに日本人とコミュニケーションがとりやすくなります。全国をまわりたいと思っています。日本は私の二番目のふるさともなりました。私は最後まで頑張って仕事で自立したり、家族を助けたり、趣味の旅行をしたりしたいです。絶対にあきらめないで大好きな日本にずっといたいです。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- ・ 5年間の日本での生活でいろいろなことを学ばれたということがよくわかるスピーチでした。これからも日本の生活を楽しんでください。
- ・ 日本での日本語と文化の体験を活かして、ベトナムに伝えてください。これからも日本全国のあちこちを見て回ってください。(オハラ)
- ・ 新しい国で生活に慣れていくのは大変ですね。あちこち旅して生活をエンジョイしてください。(大木)
- ・ たくさん練習しましたね。緊張したと思いますが、上手にできましたよ。これからもがんばって。
- ・ ゆっくりと落ちついてできましたね。よかったです。日本にいたいという思いが伝わりました。(中島)
- ・ 一人での苦労や喜びが良く伝わってきました。その強さと頑張りに期待しています。(他メッセージ多数)